



# 木下小だより「あすなる」

令和5年  
4月7日号  
(第1号)  
印西市立木下小学校

児童数  
214名



穏やかな春の日差しの中、令和5年度がスタートしました。校庭のくすのきが大きく枝葉を広げ、今年度も変わらず木下の子ども達を見守っています。丘の下には利根川の流れが悠久の時を刻み、遠くに目を移せばどっしりと構えた筑波の峰が見渡せます。創立150周年という歴史ある木下小学校の新たな1ページの幕開けを、214名の子ども達とともにスタートできたことをとても嬉しく思います。今年度も木下の子どもたちのために、職員一同心を一つに全力を尽くして取り組んでまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## みんなでつくる笑顔の学校



今年度の学校経営方針は「みんなでつくる笑顔の学校」です。「笑顔」は、人を安心させます。「笑顔」は、人に元気を与えます。「笑顔」は、人と人をつなげます。子どもたちが笑顔で安心・安全に学校生活を送ることができるように、私たち教職員も常に笑顔で一人一人に寄り添っていきたくと考えます。そして、子どもたちの笑顔を通して、保護者、地域の皆様にも笑顔が広がっていくことを願っています。

「笑顔」は心と体が安定していることの表れでもあります。心と体の安定は明日への「活力」を生み出します。活力にあふれ、自らの可能性に挑戦しようとする木下っ子を育てるために、輝く笑顔でいっぱいの学校を作っていきます。



### 学校教育目標

#### 自らの可能性に挑戦する活力あふれる木下っ子の育成

一人一人の子どもが持つ良さや可能性を見出し引き出すことにより、「自分にもできる」「やればできる」「できることは楽しい」「もっとできるようになりたい」と、子どもの意欲を高め、できたことにより自信を深め、さらなる高みをめざす活力を養っていきます。そして、その活力は、予測できない社会の変化に柔軟に対応できる『生きる力』となります。子ども達が将来社会人となったときに、様々な課題に主体的に向き合い判断しながら、他者と関わりあい、自分らしくより良く生きていけるように、小学校で身につけておきたい力を、日々の教育活動や学校行事を通して身につけていきます。

今年は、様々な教育活動がコロナ禍以前のように実施できるようになります。子ども達が挑戦できる場が増えます。また、道徳教育にも力を入れ、活力を生み出す「あきらめない心」「努力し続けようとする意志」を育てていきます。ご家庭でも学校と同じように声をかけてくださること、より一層の成長が期待できます。よろしくお願いいたします。

(校長 小林 すみ子)

